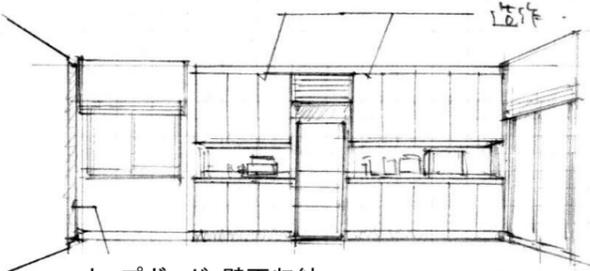


キッチン周り

手元を隠す高めの立ち上がり。ダイニング側にも折り返しておけば良かったと後悔・・・
キッチンの裏側は、家族用の書棚に。

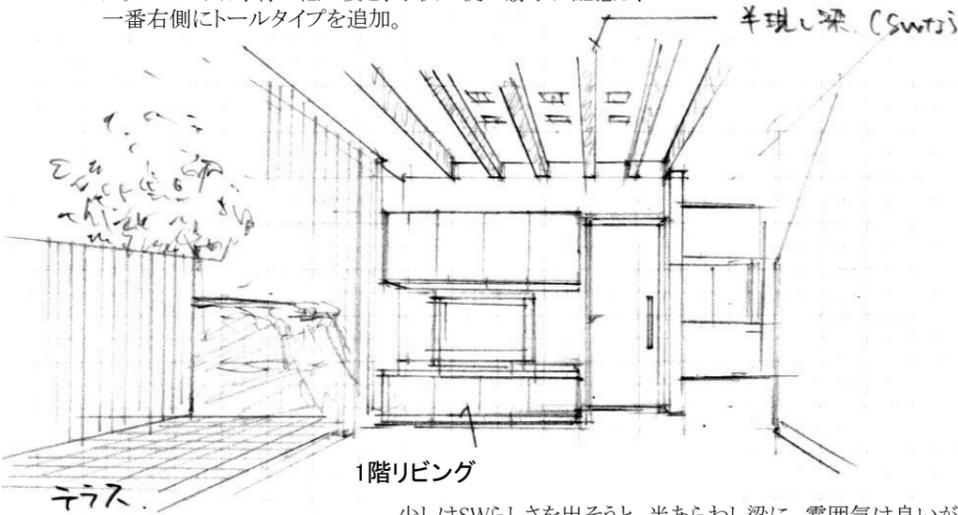


ダイニング階段

住んでみて良く分った事。冬場階段からのコールドドラフトが想像以上に凄。スラWで、閉じられる様にしておけば良かった。

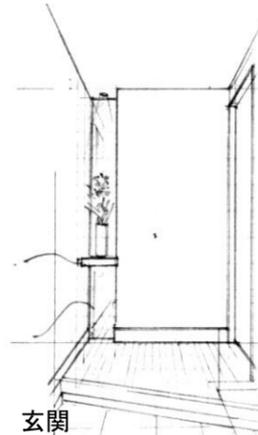
カップボード・壁面収納

左の窓は最終的には掃き出し窓に。
カップボードは、背の低い妻と、子供の使い勝手に配慮し、一番右側にトールタイプを追加。



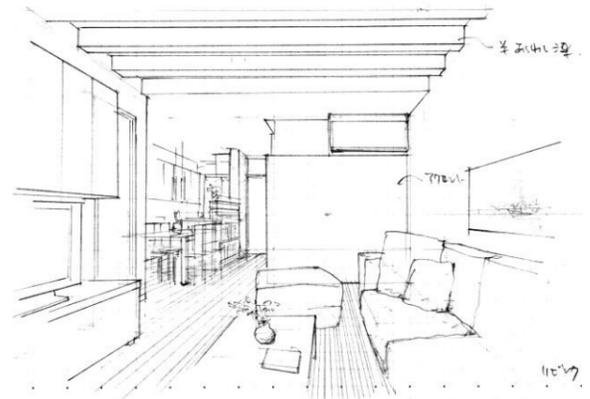
1階リビング

少しはSWらしさを出そうと、半あらし梁に。雰囲気は良いが、2階床ALCでもない我が家は、子供室の音がびっくりするくらい聞こえる。お客様の物件なら、要注意。



玄関

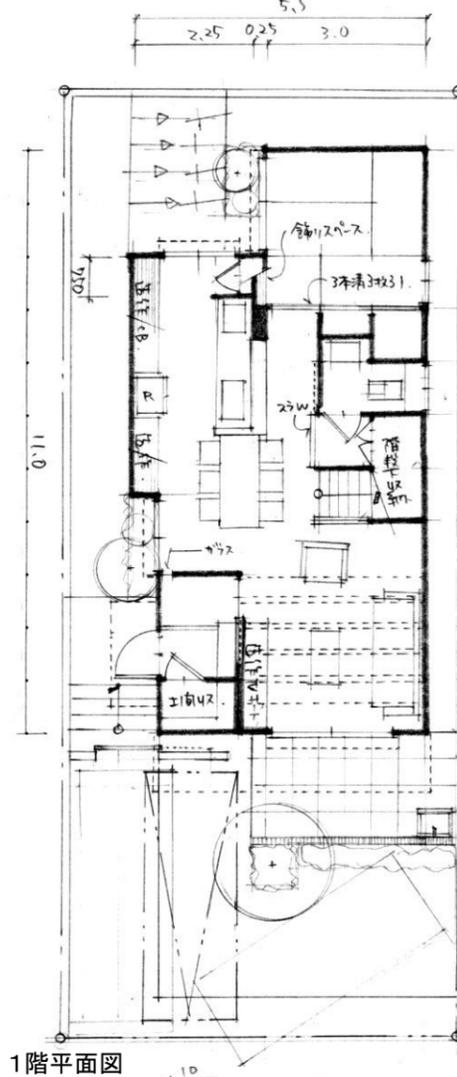
マンションからの住み替えなので、広さにこだわりなかったため、限界までしぼった。土間取のドアが、靴と干渉するのは計算外・・・



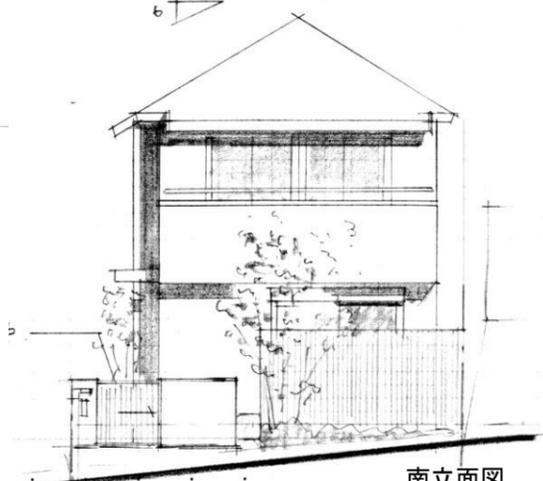
平面図上の美しさを考えれば、LDKは一直線配置だが、あえて雁行させた配置。キッチンとの対面性や、リビングの落ち着き感はこちらの方が高い。

プランのポイント

- ・建ぺい・容積=40/80の厳しい敷地条件。出来るだけ大きく。だからSW。
- ・実スペース優先。最小玄関。
- ・敷地まるごと。駐車、駐輪、テラス。
- ・家族のつながり重視。
- ・マルチパーパスホール。書斎 兼 室内物干しスペース。



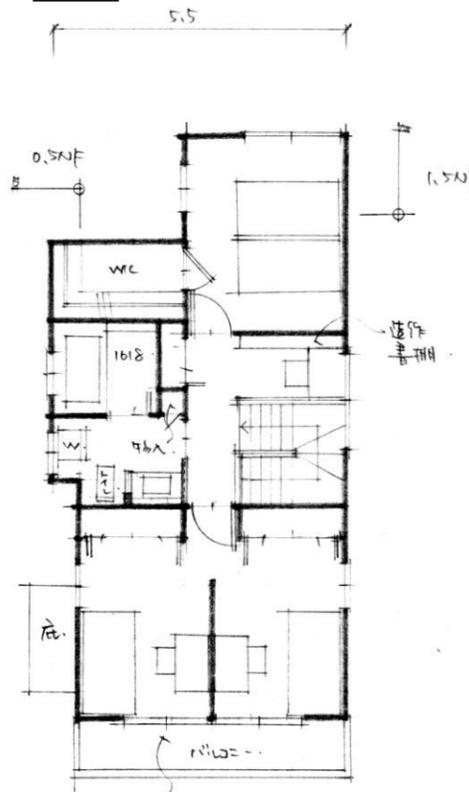
1階平面図



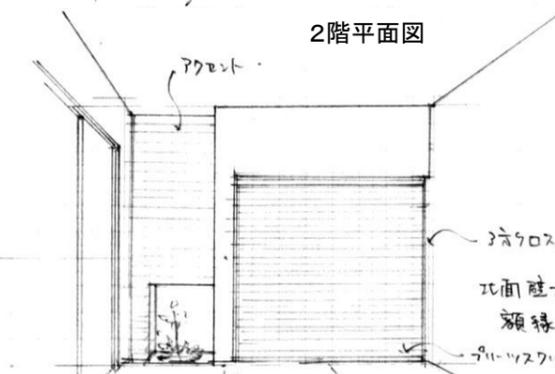
南立面図

南面垂木の出750は特注。立面図ならあまり気にならないが、立体的に見ると軒の出の違いが気になる。

1階	53.25
2階	53.25
延床	106.50



2階平面図



和室

予備室のつもりであまり重視していなかった。出来上がってから考えてみると、この飾りスペースは少々意味不明。反省点。



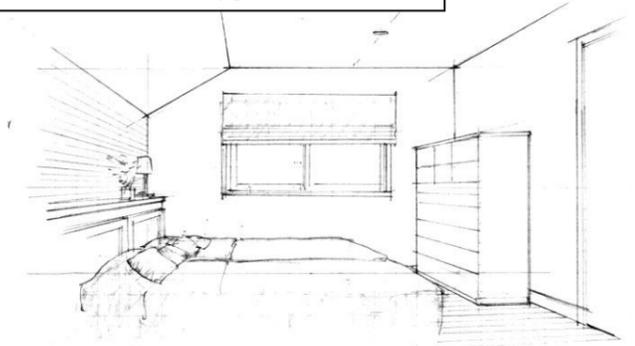
1階トイレ

サブ洗面案は却下。RMを設置。



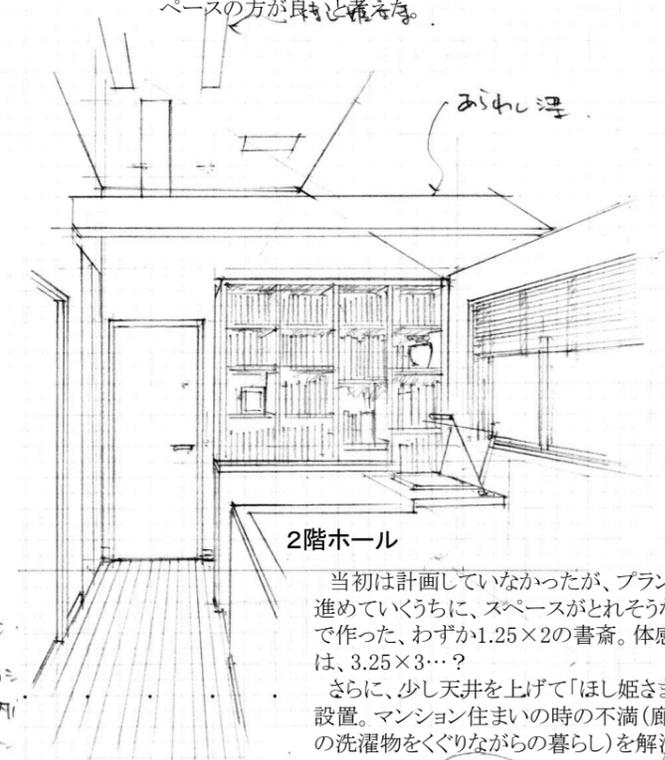
2階サニタリ

機能重視の3点セット。



2階主寝室

平面図では北側窓で東ベッドヘッドだが、最終的にはこのスケッチの形に。北隣地への配慮と、タンス置き場確保。ベッドの周りにぐるっと通路があるより、まとまった広いスペースの方が良きと着意。



2階ホール

当初は計画していなかったが、プランを進めていくうちに、スペースがとれそうなので作った、わずかに1.25×2の書斎。体感上は、3.25×3...?
さらに、少し天井を上げて「ほし姫さま」を設置。マンション住まいの時の不満(廊下の洗濯物をくぐりながらの暮らし)を解消。



子供室

画としてロフト風ベッドを描いてみたが、実際に置いたのは普通のベッド。



シンボルツリー「ジュンベリー」

妻の希望優先で、植栽はジュンベリー、ハナミズキと、非5本の樹オンパレード。しかし、花や実、紅葉も楽しめるし、その実を食べる鳥も訪れる。しかし、ジュンベリーは蛾の幼虫に葉を食べられやすく、日々注意を払う必要がある。

テラスと縦格子スクリーン

広い庭は望むべくもない敷地で、2×4程度のテラスを計画。スクリーンと高木で、道路からの視線を適度に遮った。テラスに出て何かをする事は少ないが、中から見てこの空間がある事が、リビングの広がり感を高めていると実感できる。



インテリア

無垢床(1F)とあらし梁、造作家具以外は標準的な仕上げ。子育て期、生活の場を常に美しく保つ事は難しい・・・



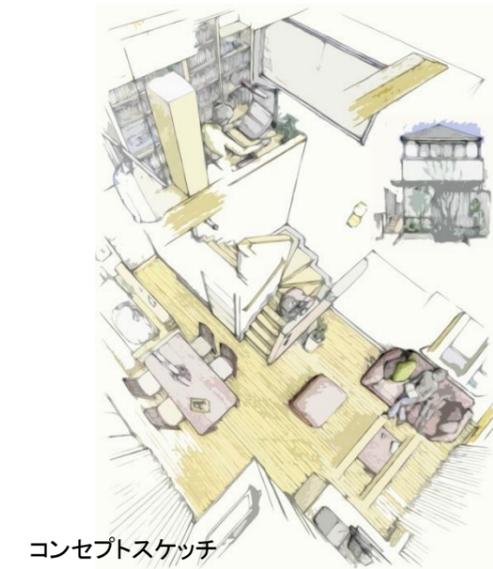
外観

平面計画の効率と、最大限床面積を確保する事を優先した為、外観は窓位置を整えたにとどまった。玄関の構えもかなり軽い印象で、少し反省点。

高木たちが早く立派に成長する事を祈るばかり。

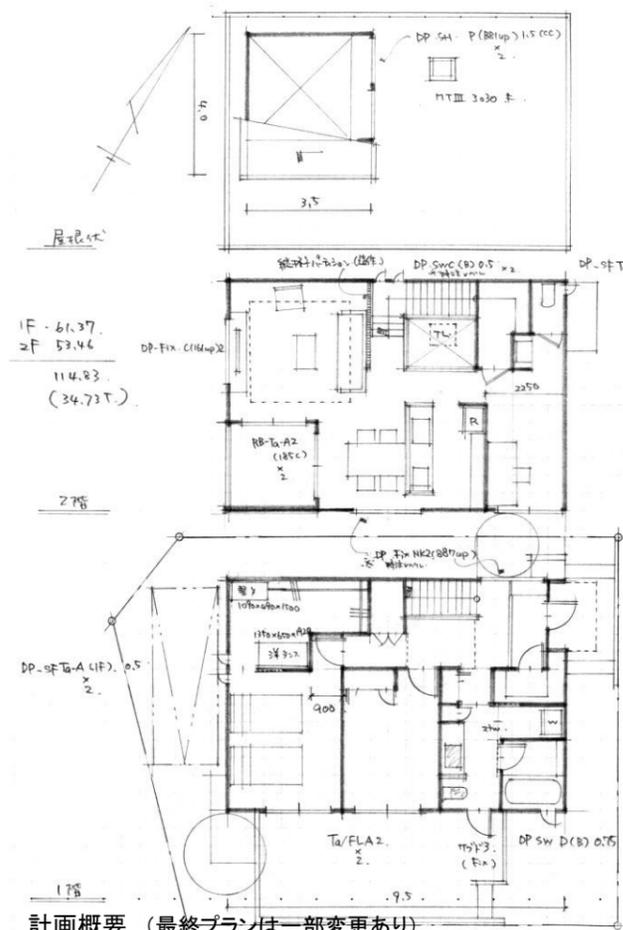


狭い敷地でも駐輪・設備スペースをきちんと計画。敷地まるごと設計は○。



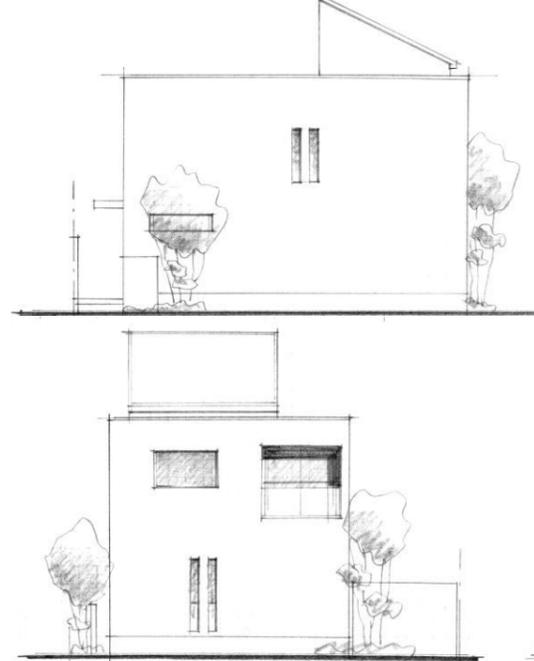
コンセプトスケッチ

小さな住まいならではの、家全体の一体感。

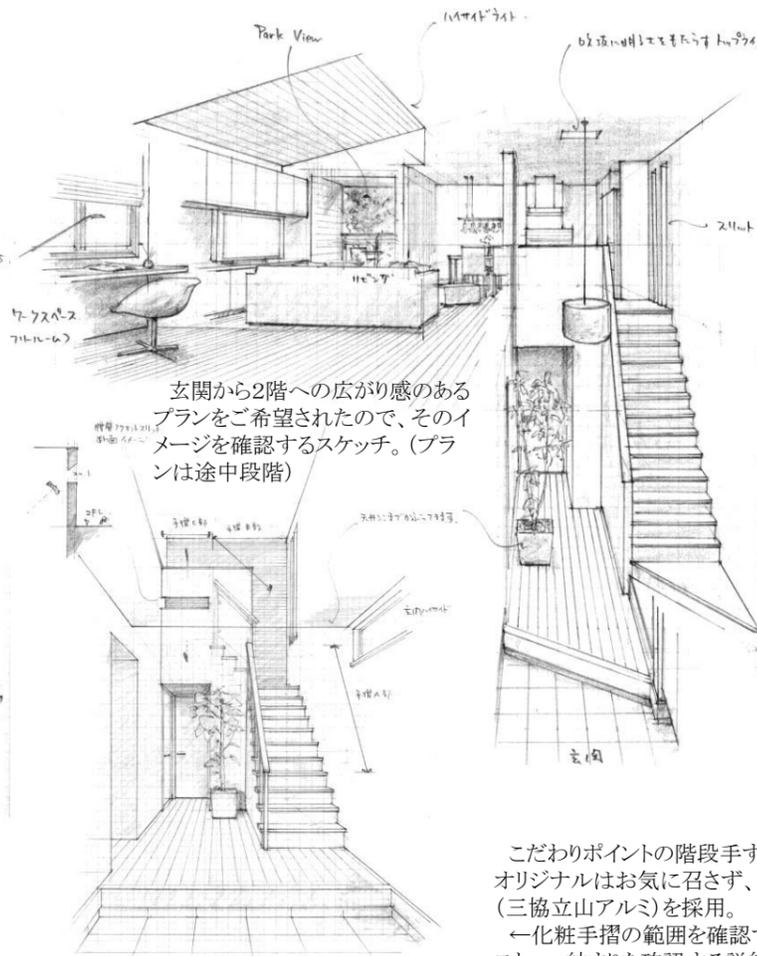


計画概要 (最終プランは一部変更あり)

建築地は、埼玉県さいたま市。40代前半、夫婦二人の住まい。ほぼ奥様(IC)一人のご意見で、計画を進める。西側の道路向かいには、桜がたくさん植えられている大きな公園。ロケーションと、日当たりを重視した2階リビングをご希望。
手描きプラン&スケッチのeメールやりとりで、プラン(計10案程度)打ち合わせを進めた。



片流れ屋根は、最終的に取りやめ。

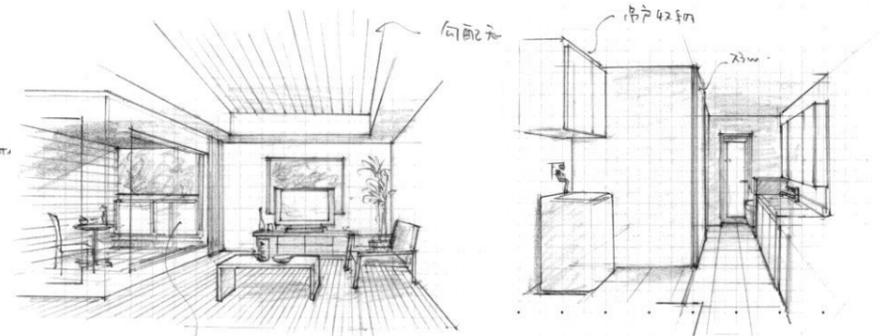
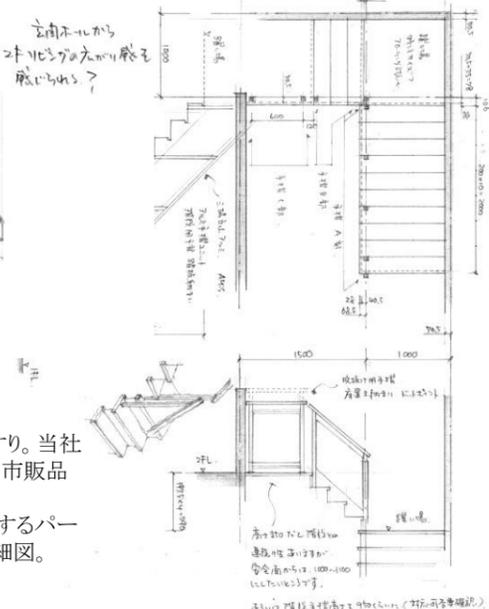


玄関から2階への広がり感のあるプランをご希望されたので、そのイメージを確認するスケッチ。(プランは途中段階)

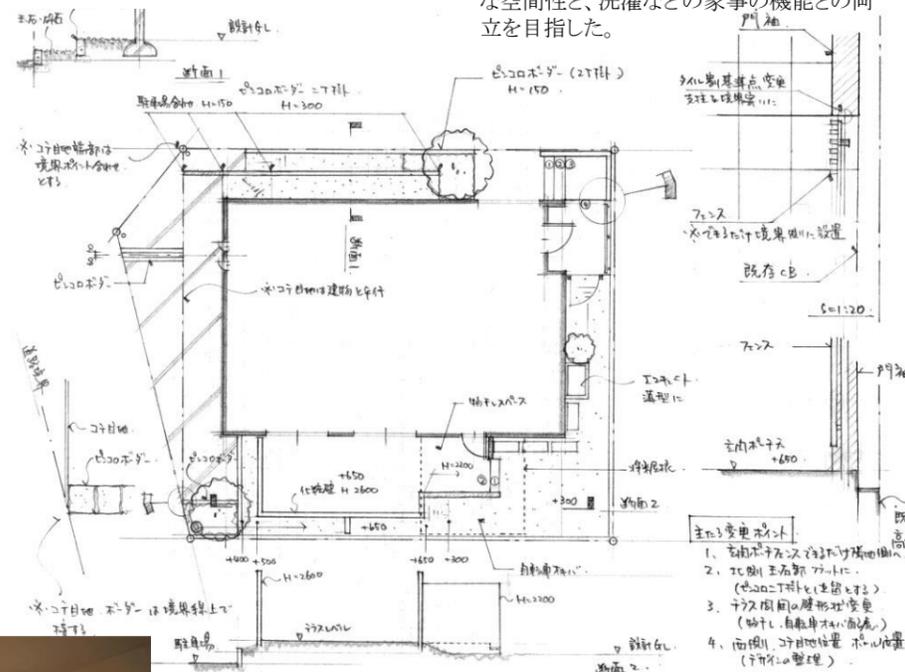
こだわりポイントの階段手すり。当社オリジナルはお気に召さず、市販品(三協立山アルミ)を採用。
←化粧手摺の範囲を確認するパースと、→納まりを確認する詳細図。

各部空間スケッチ

建築主はプロのICだったが、現住所・建築地共遠距離の為、メール・電話での打合せが多くなるので、極力スケッチを描いて共通認識を構築した。

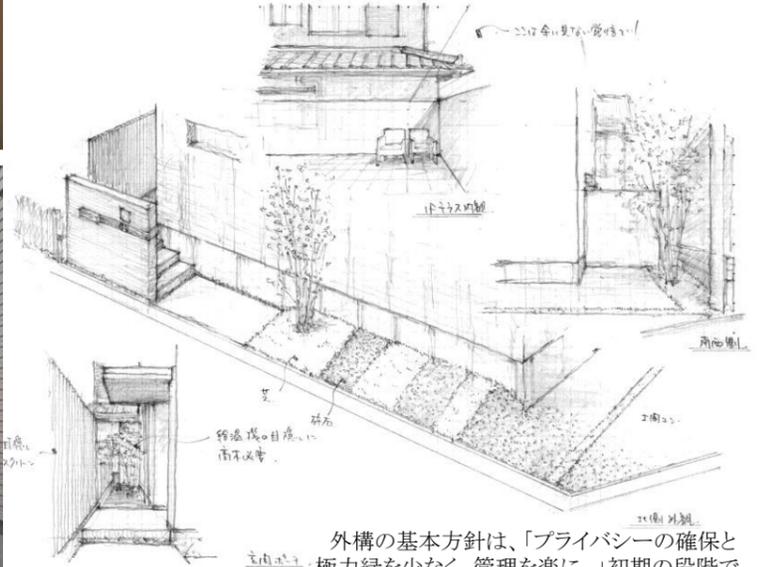


サニタリーもこだわりポイント。スタイリッシュな空間性と、洗濯などの家事の機能との両立を目指した。



外構計画図 (最終案にあらず)

外構も、積算をしてもらいながら、何度も(計5案)案を作成。後半は、テラスの塀を普通ブロックで積む為の高差処理、各設備機器の配置・目隠し、タイル割など実施設計(詳細)について提案。



外構の基本方針は、「プライバシーの確保と極力緑を少なく、管理を楽に。」初期の段階で、イメージを伝える為のスケッチ。



竣工写真

実物件/手描きプレゼン事例紹介

Y邸打合せ図面・スケッチ 竣工写真

エスキス&清書の考え方の一例(初心者向け かつ いつまでも使える基本)

・訂正のしやすい、鉛筆(シャーペン)と消しゴムを基本に。

【エスキス】

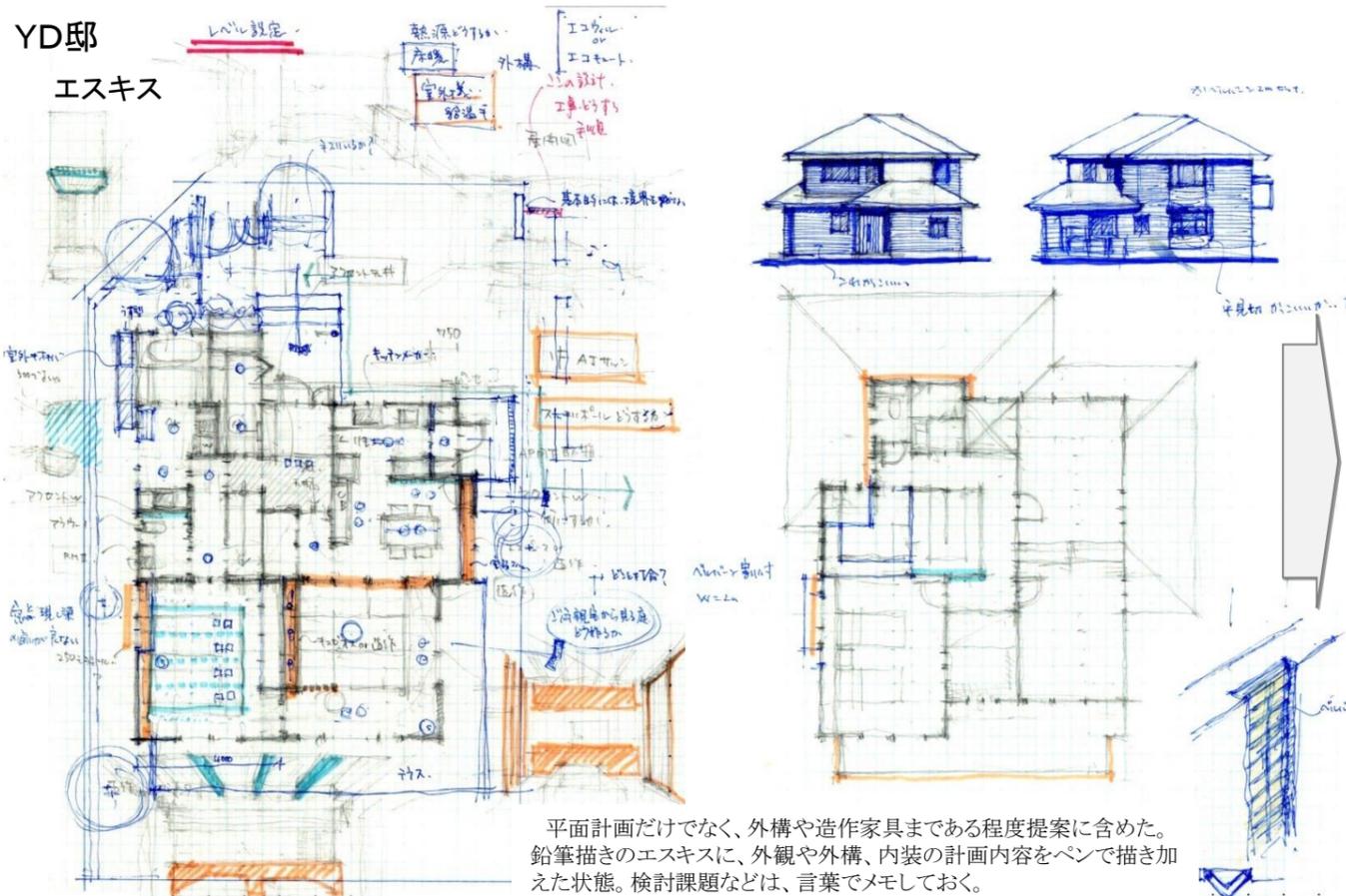
- ・最初は薄い線で。うまくいきそうなら、徐々に描き込みその過程で壁も分りやすく濃い線にしていく。
- ・よほど単純な形状のプランでない限り、1階プランの上に2階プランを重ねて描く。用紙上の位置も揃える。(ミスが少なく考えやすい。)
- ・うまくいかなかったら①消しゴムで消すか、②別の紙に最初から。出来るだけ①で。②の方法をとる場合は、それまで描いていた案が有望で保存すべきと考えられる場合、あるいは消すのが面倒な場合。
- ・方針が固まってもすぐ清書に移らず、出来るだけエスキスに描き込む。(綺麗でなくて良い。もちろん外観も検討しておく。)

【清書】

・エスキスを見ながら、一気に描き上げる。(色々な方法、タッチを試しながら自分のスタイルを作り上げる。)

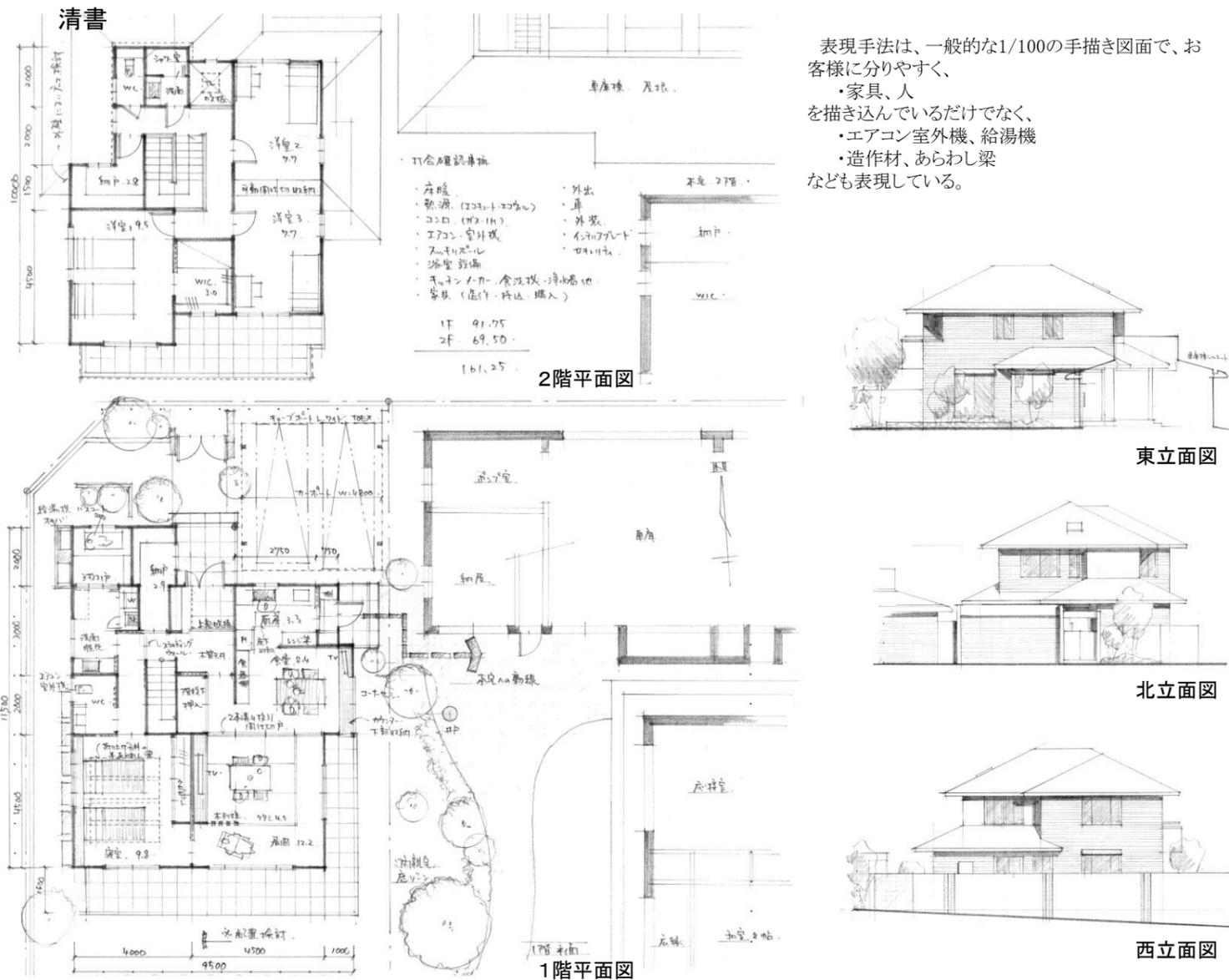
YD邸

エスキス



平面計画だけでなく、外構や造作家具まである程度提案に含めた。鉛筆描きのエスキスに、外観や外構、内装の計画内容をペンで描き加えた状態。検討課題などは、言葉でメモしておく。

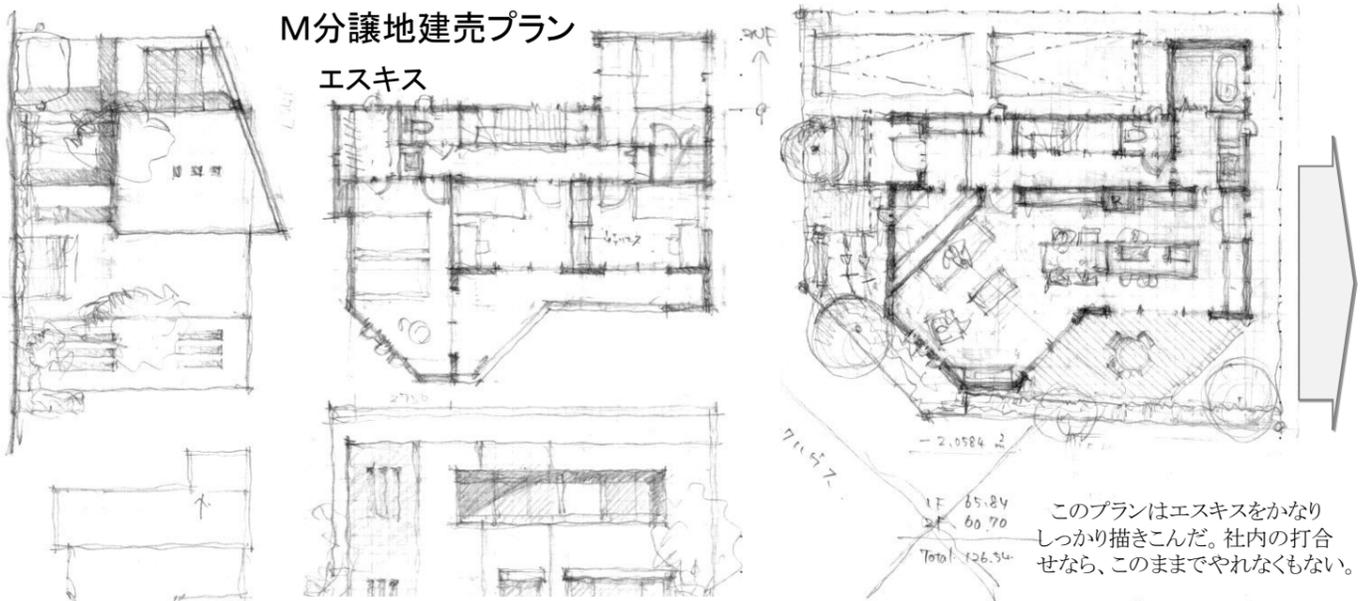
清書



表現手法は、一般的な1/100の手描き図面で、お客様に分りやすく、
 ・家具、人
 を描き込んでいるだけでなく、
 ・エアコン室外機、給湯機
 ・造作材、あらわし梁
 なども表現している。

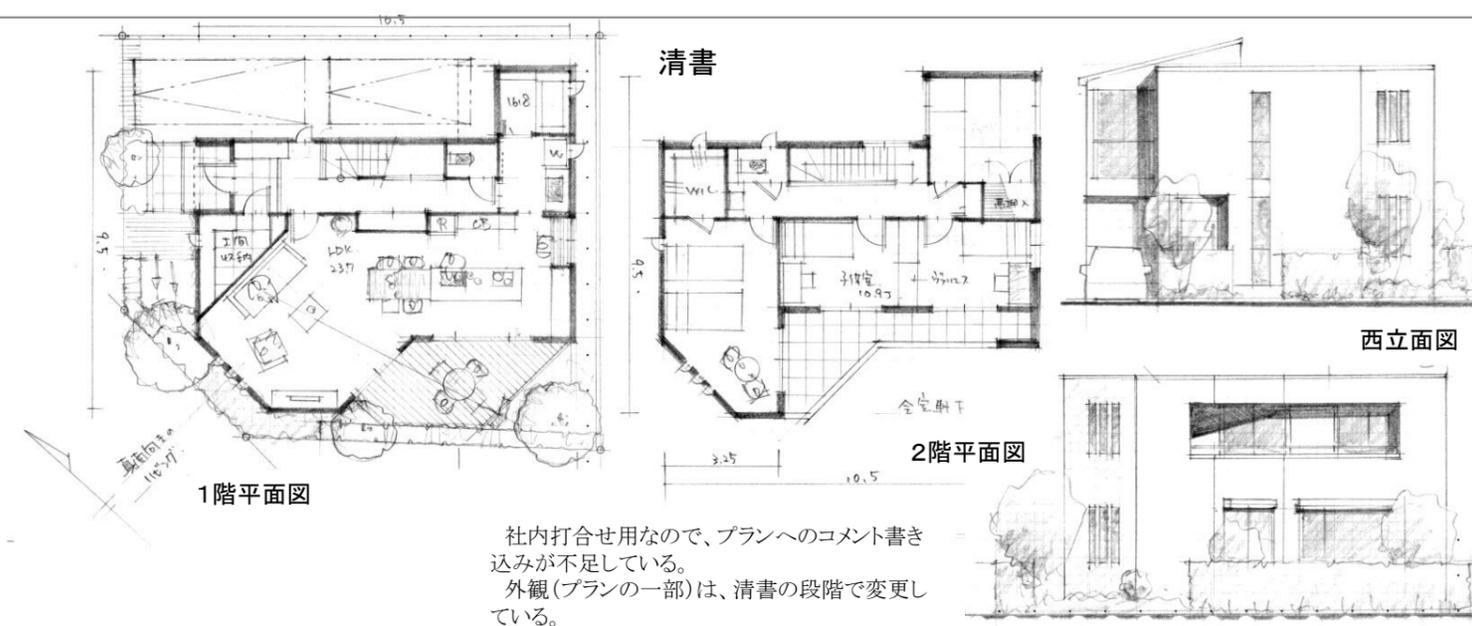
M分譲地建売プラン

エスキス



このプランはエスキスをかなりしっかり描きこんだ。社内の打合せなら、このままでやれなくもない。

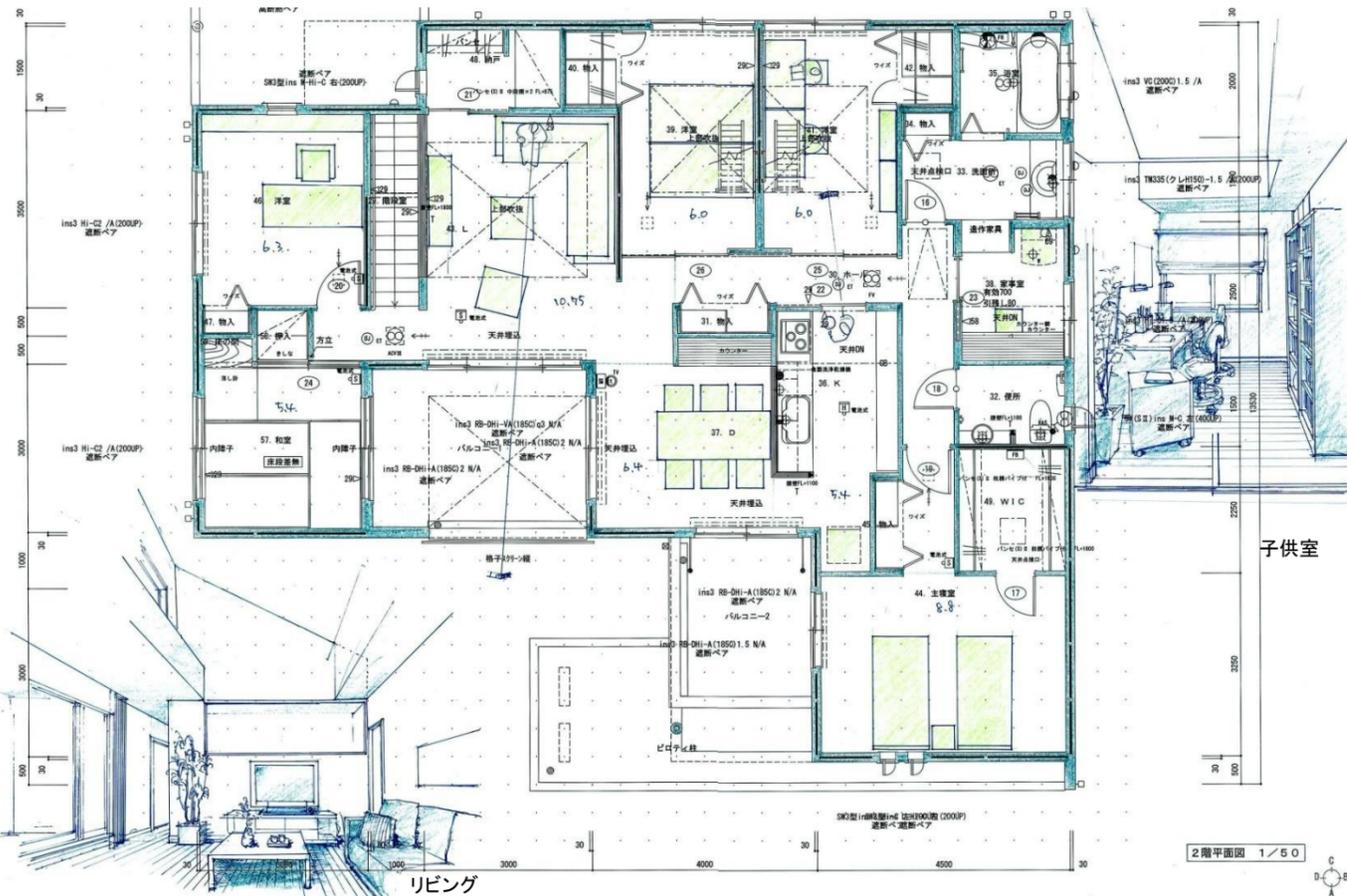
清書



社内打合せ用なので、プランへのコメント書き込みが不足している。外観(プランの一部)は、清書の段階で変更している。

O邸 CAD図+手描き加筆

契約後の打合せ図面。少しでも見易くする為に平面に家具記入、及び内観スケッチを加筆。



N邸 平面図

鉛筆手描き図面のコピーに色鉛筆着彩・マーカー影+コメント(PC上加筆)
 お客様向けプレゼン図面の標準形。手早く描いてある程度の分かりやすさを確保。
 PC上でレイアウトして、文字や写真など加えれば、プレゼンらしくなる。



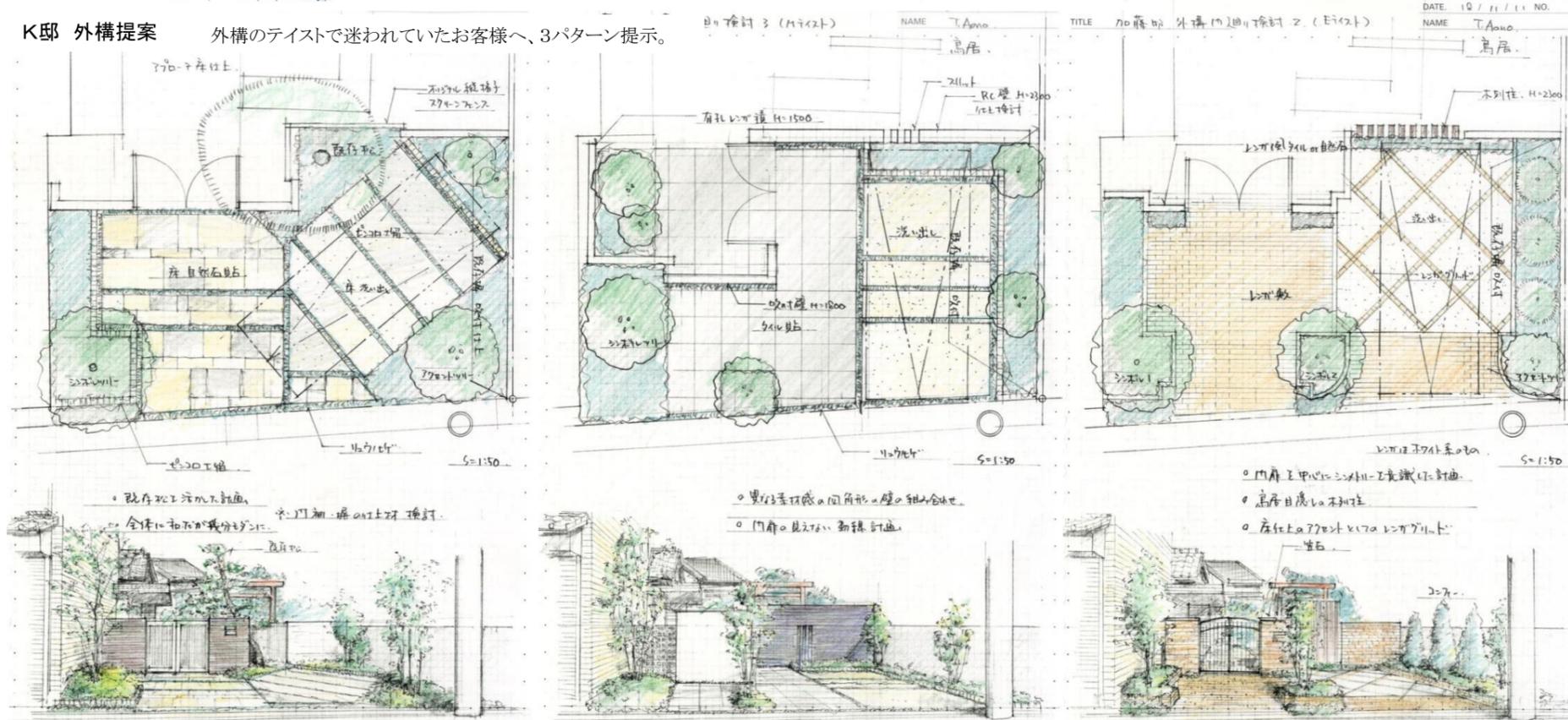
当社分譲地建売プランパンフレット用図面

少し特別な印象を醸し出す様、手描き原稿を単色カラーコピーし、水彩絵の具で着彩。色数を絞り、独特の味を出した(つもり)。

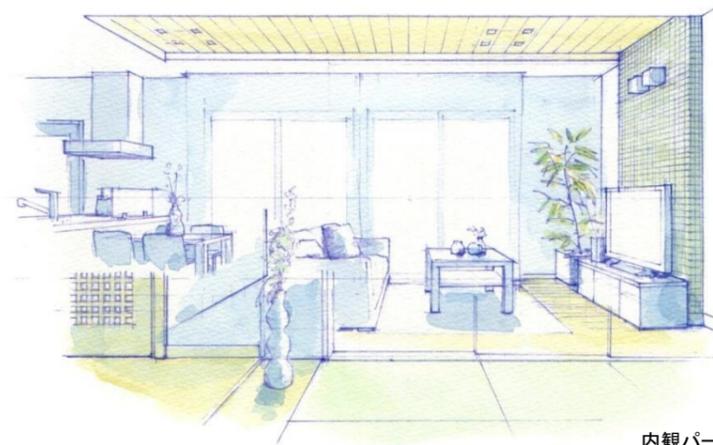


K邸 外構提案

外構のテイストで迷われていたお客様へ、3パターン提示。



外観パース



内観パース

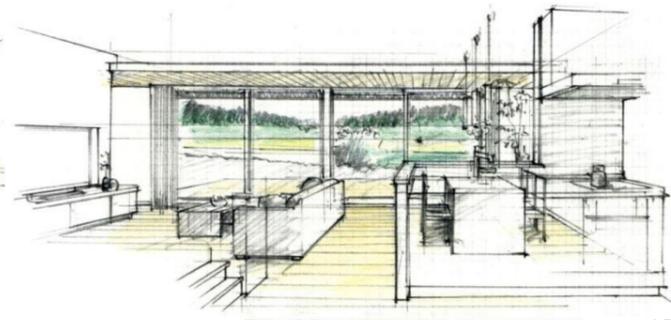
手描きパースと一口に言っても、目的や状況により、描き方・表現手法は様々です。「何を表現する為に、どう描くか」を常に意識しましょう。



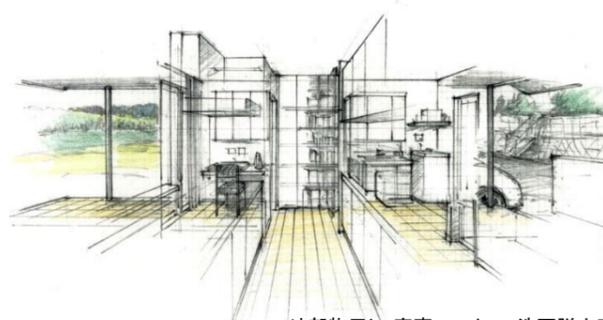
M邸内観パース

和室・広縁

初回プラン提案に添付した内観スケッチ。空間構成と、目の前に広がる田園風景との関係を意識したプラン作りを印象づける目的。



LDK

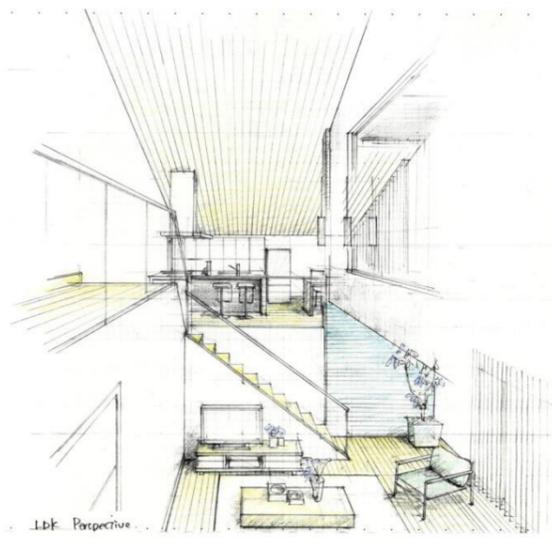


外部物干し・家事コーナー・洗面脱衣室



K展示場

プラン提案段階のパース。空間構成と広がり感を理解して頂く為の画。着色は、ポイントとなるところだけにすると、①時間の節約②ミスが減少③プロっぽい味わい、などのメリットがある。



N邸



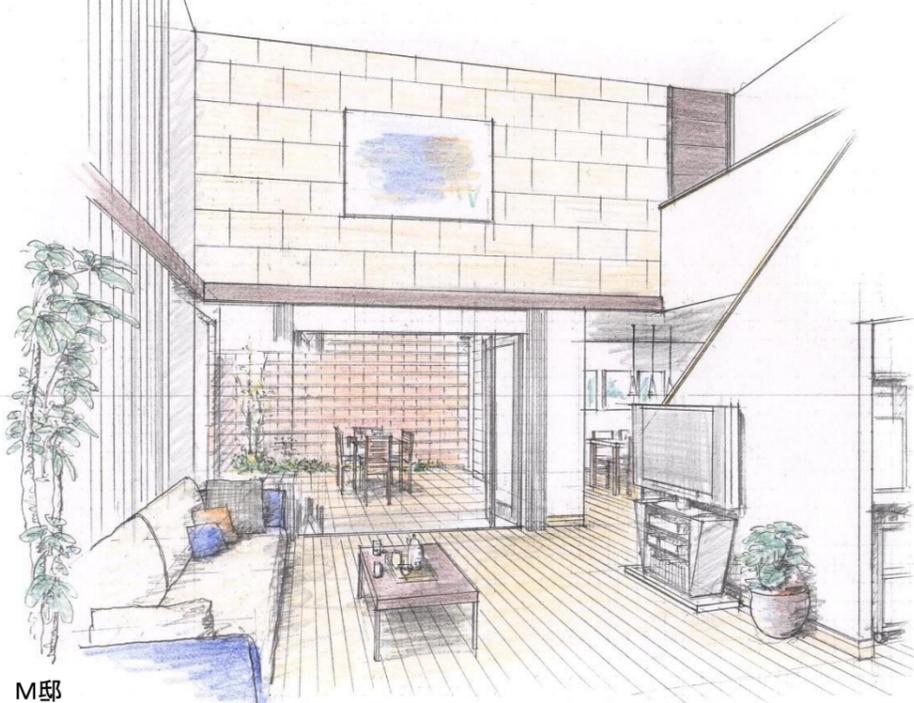
O邸

初回プラン提案。勾配天井や、バルコニーとのつながりを説明する画。一般的には断面図で表現するところを、パースで。



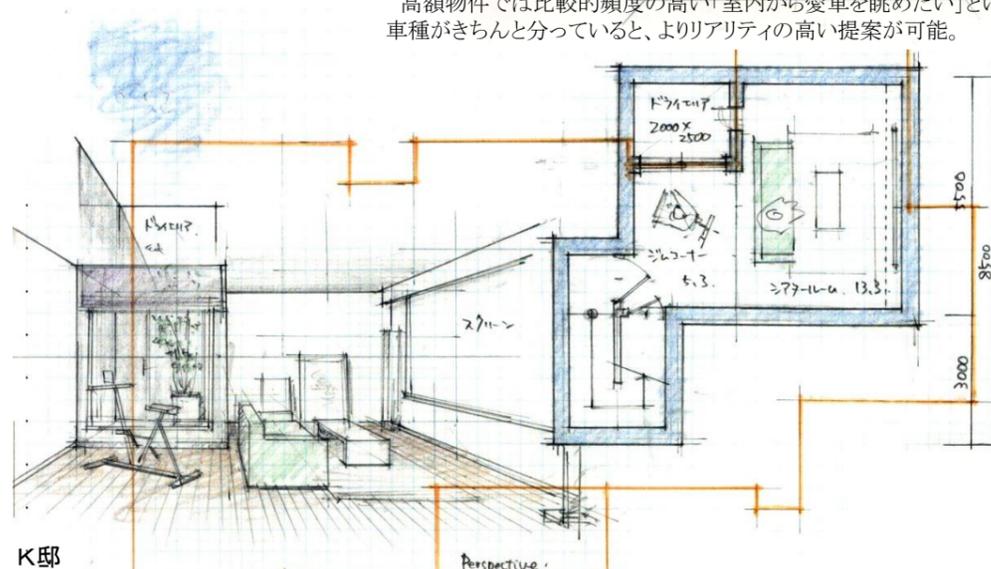
T邸

高額物件では比較的頻度の高い「室内から愛車を眺めたい」という要望。車種がきちんと分っていると、よりリアリティの高い提案が可能。



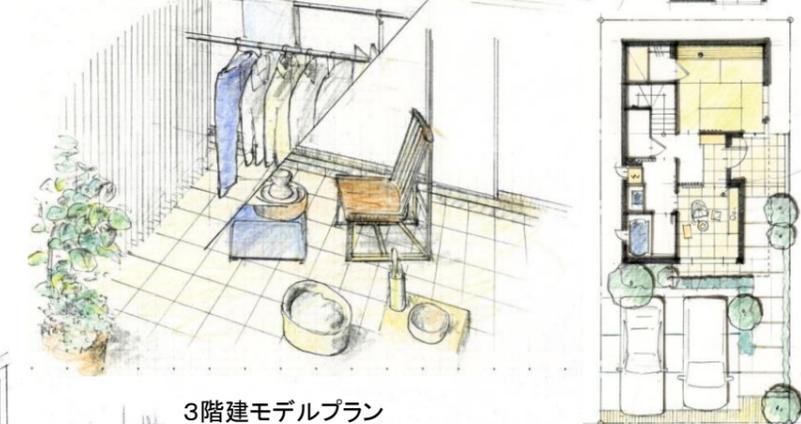
M邸

5~6回プラン変更を重ねた後、最終案でのインテリアパース。インテリア打合せもある程度進んでいたため、仕上げ材なども意識した表現に。



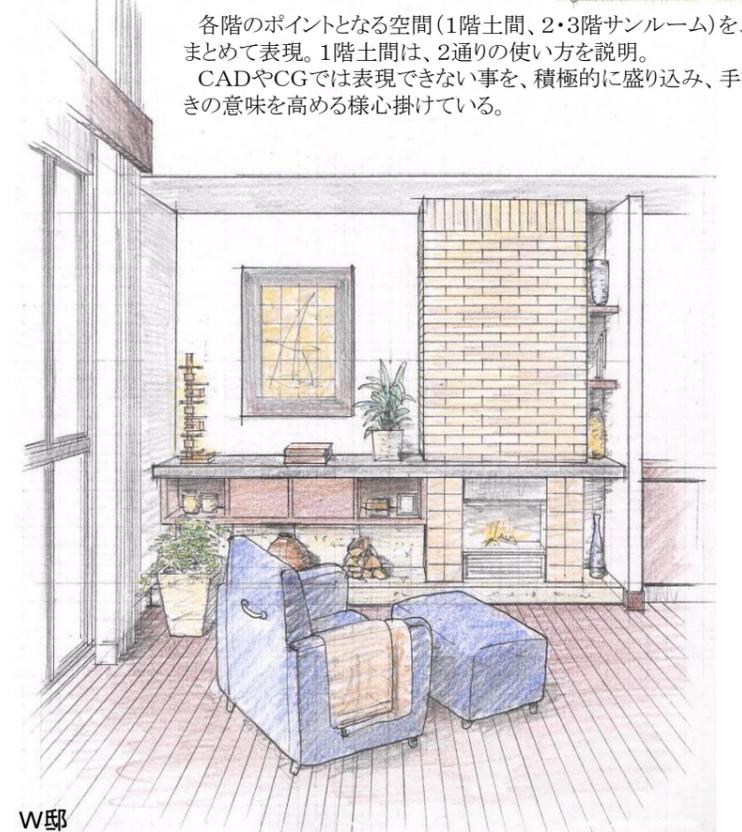
K邸

内部仕様打合せ中に、お客様から突然「地下にシアタールームが欲しいな・・・」とのリクエストがあり、その場で描いた、プラン&スケッチ。「ふむふむ」とご理解頂いたが、結局地下室は造らない事に。



3階建モデルプラン

各階のポイントとなる空間(1階土間、2・3階サンルーム)を、まとめて表現。1階土間は、2通りの使い方を説明。CADやCGでは表現できない事を、積極的に盛り込み、手描きの意味を高める様心掛けています。



W邸

初回提案。高額物件であったので、質感重視し、カタログから雰囲気の良い暖炉コーナーをそのままコピーして、インテリアパースに。

M邸 第1回プレゼン (コンセプトページ)

設計意旨

融合

一つの住まいをつくる時に、色々な条件に配慮しながら、様々な要望にお応えする必要があります。敷地条件や、要望をうまく融合しながら、まとまりのある一軒の家となる事を目指しています。水、風を捉えながら、心で快適な暮らしを送って頂ける住まいを計画させて頂きたいと考えています。

与条件
計画内容
デザイン
平面計画
人

- 敷地周辺環境と敷地内の計画
- 敷地内の計画と建物の内部
- 平面計画と外観
- 新しい建物と周辺の既存建物
- 和の建と現代らしさ
- 美しさと機能
- 新しい暮らしと母屋の機能
- 若世帯のライフスタイルと、家としての機能
- 住まい手と、家の思い
- 住まい手それぞれの希望

ご要望整理マップ

Realistic ↑ 若世帯の暮らしに必要な機能
↓
Emotional ↓ より愛着の湧く住まい

松本家の母屋として
二階続きの家
伝統的 Traditional ← → Modern
対面キッチン
続き間子供室
リビング階段
子育てのための住まい

引き戸
家事動線
キッチンと洗濯機
物干し
収納
PCコーナー
トイレ

敷地条件のよみとり

計画地は、丹波市南部亀岡盆地北端に位置しています。地形的、および周辺建物状況などのポイントは以下の通りです。

地形
・南西側に桂川を流す平地（農耕地）の広がり
・北東側に茂森山
周辺建物等
・敷地北西側に道路+水路
・道路を挟んで、ご同僚がお住まいになる離れ
・東側に、隣家の倉庫
・敷地内に電柱

01

プランの話の前に説明したい事をまとめる。

①敷地条件の読み取り (敷地写真)
②頂いたご要望事項の整理 (多岐に亘っていたのでマップにプロット)
③コンセプト
④空間イメージ写真(〇〇〇〇)
お気に入りとの情報あり

M邸 第2回プレゼン (コンセプトページ)

変更案の検討課題

- 二階続き和室の使い方
- 仏間の向き
- リビングと和室のつながり方
- 家事スペースをタタミ敷きに
- 寝室はタタミ敷きに
- 建物配置と開口の向き
- 丸窓の位置
- 洗濯場の干しスペースの目隠し

ご要望整理マップ

Realistic ↑ 若世帯の暮らしに必要な機能
↓
Emotional ↓ より愛着の湧く住まい

松本家の母屋として
二階続きの家
伝統的 Traditional ← → Modern
対面キッチン
続き間子供室
リビング階段
子育てのための住まい

引き戸
家事動線
キッチンと洗濯機
物干し
収納
PCコーナー
トイレ

01

①前回提案した案の確認
②プラン打合せの中でお聞きした新しいご要望 (マップに追加)
③今回提案するにあたって、検討すべき課題

S邸 第1回プレゼン (コンセプトページ)

「展示場の様な建物」というご要望。周囲からの視線が気になる敷地条件なので、コートハウスを提案。

①敷地条件の読み取り (敷地写真)
②ラフゾーニングスケッチ
③コンセプト

設計意旨

Court Life

外郭からの視線に配慮した外部空間へ開き、開放感とプライバシーを両立

- 1階「リビング、ダイニング」 → コート
- 2階「寝室、子供室」 → 軒下、ハイウォールバルコニー

お住まいになる方の満足感を高める、それぞれの空間の見せ場

- 広がり高い質感を演出した玄関
- ダイナミックなリビング階段

実際の暮らしへの配慮

- 大型4取納庫 (玄関・リビング・納戸・扉扉WIC)
- キッチン、洗面脱衣室の動線感 (いわゆる家事動線)
- カービズヤード、軒下バルコニーなど家事に便利な空間

外観

- 柔らかい物置屋根の外観
- ボックスバルコニーとのバランスで斜面的な外観に
- 外構要素 (記市場ゲート、門柱、塀等) で整えた外観

01

戸建感覚の暖か味と、機能性を両立させた幼稚園

建築システムについて

既存建物は、在来工法ならではの自在な屋根勾配の組み合わせとなっていて、とりわけ中央のどんがり屋根が特徴となっています。これが幼稚園の顔であるとともに、園児の皆さんの思い出しに深く関係していることとします。

今回、弊社は御提案させて頂く建物は、工業化住宅のスペシャリストとして長期に渡る実績を持つ、オリジナル工法のもので、(躯体の鉄・木の種別については、大空間確保のための構造的な自由度を重視し、鉄骨造を採用させて頂きました。)

建築本体は奇抜なデザインには対応できませんが、住むとくつろいだアウハウを活かした付帯・外構・内装等の工夫を凝らした計画としています。

配置計画について

計画を進めるにあたり、建物の形態を決めるにあたり以下の点に配慮しました。

- 1 利用・運営のし易さ
- 2 勾配としてふさわしい1棟のボリューム (ヒューマンスケールとの関係)
- 3 園庭の有効活用
- 4 構造システムに適した大きさ

この様な考慮と検討しているご要望から、所要面の配置・配分の方針は

- 1 高コストを取るか敷地エントランスは現況の位置
- 2 建物は平屋もしくは2階建て
- 3 保育室棟とそれ以外 (管理棟) を別棟とし、廊下で繋ぐ形式
- 4 仮設園舎を必要としない前提
- 5 大ホールとのつながりのある配置
- 6 敷地エントランスに近い位置に管理棟

としたしました。

ケースタディー

- 1 各保育室が北向きとなる
- 2 既存園舎との関係・完成後の園庭の形に拘束あり
- 3 保育室の半分が2階に

動線計画

- 園全体を外部と遮断するセキュリティラインを設ける
- 園内への入口は管理しやすい位置とする
- 園児と来客のスムーズな動線確保のために

ゾーニング計画図

- を独立して確保
- 大ホールへのスムーズな動線

01

K幼稚園 第1回プレゼン (コンセプトページ)

幼稚園の建替計画。正直、当社の専門分野外ではあったが、ハウスメーカーならではの視点で提案。

①現状の建物について
②ハウスメーカーのシステムについて
③園を運営しながらの建替に配慮した配置計画
④全体のゾーニング

01